

3.11ALL鎌倉活動史

2011

- 3月11日14時46分 東日本大震災発生
三陸沖深さ24 kmを震源とする地震
マグニチュード9.0 最大震度7
【2021年3月現在】
[死者] 15,899人 [行方不明者] 2,526人、
[避難者] 4万1,241人
[建物全壊・流出・半壊] 40万4893戸
- 3/12 福島第一原子力発電所事故



2012
2013
2014

- 3/11 3.11～七の心をつなぐ～
- 3/10 第一回 心をひとつに
- 2/14 関東地方豪雪
- 3/9 第二回 心をひとつに
- 8/27 鎌倉市と七ヶ浜町パートナーシティ提携
- 12/22 鎌倉市と大船渡市パートナーシティ提携
- 3/8 第三回 心をひとつに

2015

- 第一回 鎌倉市中学生防災サミット

2016

- 3/13 第四回 心をひとつに
- 第二回 鎌倉市中学生防災サミット

2017

- 4/14 熊本地震
- 3/12 第五回 心をひとつに

2018

- 6/28 西日本豪雨
- 8/11 第三回 鎌倉市中学生防災サミット
- 6/18 大阪北部地震
- 8/11 第四回 鎌倉市中学生防災サミット

2019

- 9/6 北海道胆振東部地震
- 3/9 ミュージカル「ゴーへ」鎌倉公演
- 3/10 第六回 心をひとつに
- 8/11 第五回 鎌倉市中学生防災サミット

2020

- 9/11 台風19号 豪雨
- 3/8 第七回 心をひとつに (延期)
- 7/3 熊本豪雨
- 8/10 第七回 心をひとつに オンライン

2021

- 2/13 福島県沖地震 (M7.3)
- 3/9 あれから10年 心をひとつに東北へ



ともに前へ！！
実行委員代表 中里成光

東北の復興を思い集った鎌倉の仲間たち。その思い、そして我がまち鎌倉への思いが純粋に10年間の活動となりました。雄大な自然と暮らすには自然の猛威も常に共存すべきだと学びました。心の復興に終わりがありません。想いは一つ・・・「ともに前へ！！」



Stop the 無関心
実行委員代表 酒井太郎

全国で自然災害が多発し、どこで災害が起きてもおかしくない今、「stop the 無関心」の気持ちを忘れず、これからも被災地を応援していければと思います。



つながる未来
実行委員代表 蓮見洋平

震災で多くを失い、その気持ちを誰も理解できないまま、模索し活動してきた10年には意味があり、関係性を変えそれぞれが友人や仕事仲間として今も東北と繋がり続ける未来につながる活動だと実感致しました。感謝！！！！



震災から未来を見据えた活動に
紙芝居師 なっちゃん

東日本大震災復興の紙芝居ボランティアを一人で被災地で続けてきた中で、鎌倉の皆さんと出会い、ALL鎌倉実行委員会メンバーとして活動させていただきました。おかげ様で、震災復興の枠を越え、自分たちの住む街を災害からどう守っていくか。震災から未来を見据えた活動に広がる事が出来たと感じています。海も山も身近な存在でありながら防災インフラが十分とは言えない鎌倉市で、何か起こったときに大切なのは防災への意識であるということ、ALL鎌倉の活動を通じて、私自身が学べました。また、東北へ想いを届け続ける仲間が居ることに私自身勇気を貰い、東北への復興紙芝居をずっと続けられました。



忘れないように、思い出せるように
記録撮影・報告書作成 山口貴大

その時の我々の想いや記憶を固定し、後の世代に繋げるために、撮って、書いて、まとめて、残します。

3.11ALL鎌倉実行委員会が関わったもの

鎌倉市との協働事業

【協働とは】 市民活動団体と市が、互いに対等の立場で、互いの特性や持てる資源を活かしあって、その取り組む課題や目的およびプロセスを共有し、協力して新たな公共サービスの形成や公益性の高い事業に取り組むこと。

当団体は、自分たちが持つノウハウや人のつながり・ネットワークを活かし、東日本大震災への復興支援や鎌倉の防災を考えるためのイベントを開催している。本イベントを市と協働で開催することにより、市が保有している鎌倉の防災に関する情報を発信する場を創出し、市民に向けて広く情報を発信し、防災意識の向上につながることを期待されるため、本事業を協働で開催する必要がある。

防災都市提言

防災サミットに参加した中学生たちがその後も活動を続け、鎌倉市に防災都市提言を提出しました。以下が原文となります。

鎌倉市防災都市提言

鎌倉市がおこなうべき、「防災」とはなんですか。それは、すべての市民を災害から救う仕組みづくりのことだと思います。私たちは、家族、友達、夢、そして未来を失いたくありません。大切なものを守るためには、行政の力と地域の力との連携が必要です。そこで、地域と関わりの深い私たち中高生の

力を鎌倉の防災に活かしてください。私たちに若者ならではの発想力、行動力があります。そしてなにより、私たちはいつもこの鎌倉にいます。鎌倉の防災の未来を私たちと共に創って行きませんか。2021年3月7日 鎌倉市中高生防災サミット



これからの鎌倉防災への取り組み

東北の応援から鎌倉の防災へ

「東北のことを想い 団体の垣根を超えて様々な人が集まる」それがALL鎌倉の始まりでした。

そこから東北での学びを地元を活かすという想いで、中学生防災サミットなど鎌倉防災への取り組みをスタート致しました。奇しくもそこに参加した若者達が中心になり、今では次世代の防災グループを作って活動しています。

これから大災害がくる恐れのある私たちは世代や組織、自治体の枠を超えて取り組んでいく必要があります。

ALL鎌倉では次世代に繋ぎ、サポートしながら防災の輪を広げていきたいと考えています。



第5回鎌倉市中学生防災サミット(2019)



湘南深沢ワンパークでのアウトドア防災訓練(玄海の活動)

期待の若手活動家たち

「玄海」は防災意識向上のために、映像やイベントを通じて楽しく実践的に防災を普及させる学生団体です。



genkai-kamakura.org



橋本 玄 高校生防災士の橋本玄です。3.11ALL鎌倉実行委員会からつながったご縁で、高校生視点の「楽しく学べる防災」を大切に今後も活動していきます。



中里 海人 今多くの人が抱えている、防災は堅いというイメージを壊すために、実践的なイベントと同時に自らの映像制作技術を活用し全国レベルでの防災意識向上に努めます。



田島 大地 東日本大震災の被災地に訪れると現地の方は繰り返さないでほしいと言います。もうたくさんの命がなくならないように私は活動を続けていきます。



心をひとつに つなげようみちのくの未来へ

東日本大震災から11年 被災地の復興と鎌倉の防災を考える日

四 3.11ALL鎌倉実行委員会 総合活動報告

2011年3月11日に発生した東日本大震災 鎌倉から多くのボランティアが東北に向かい、10年間の復興への想いを繋ぎます

3.11ALL鎌倉実行委員会の10年

2011年3月11日14時46分 マグニチュード9.0 最大震度7の東日本大震災が発生。大津波により東北の沿岸部では甚大な被害を受け、多くの尊い命を失いました。我々は東北の方々に何とかして寄り添い、復興への力になりたいとそれぞれの力がひとつになり「3.11ALL鎌倉」という一つの力となりました。復興支援・風化防止・鎌倉の防災をテーマに活動し、多くの市民の皆様、ご協力団体の皆様を支えられ活動を継続してきました。10年の節目を超え、感謝と未来に向けたメッセージとしてこの報告書をお届けします。



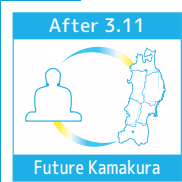
ご協力いただいたみなさまに感謝いたします

東北ココロつなぐプロジェクトin鎌倉、大船to大船渡、愛と勇気とさんまプロジェクト、(株)大川商店、ちきゅうの子22、SAVE TAKATA、陸前高田うごく七夕 松原祭組、みんなでつくろう湯たんぽカバー、ぐるうが未来、かまくら防災倶楽部、紙芝居師 なっちゃん、七七支援隊(七里ガ浜発七七ガ浜復興支援隊)、カメライーターかさこ、オフィスナナフク(山口貴大)、かまくら子育て支援グループ懇談会、震災銭湯をつくる会、鎌倉法人会女性部会、市職員ボランティア「いざ鎌倉隊」、鎌倉青年会議所、鎌倉市資源共同回収組合、鶴岡八幡宮槐の会、鎌倉ユネスコ協会、鎌倉YMCA、大船渡漁師のかき小屋、酒井胃腸科内科クリニック、カトリック雪の下教会、アクアサルーテ、鎌倉ガーディアンズ、かながわ3.11ネットワーク、未来・連福プロジェクト、(株)ニューテックジャパン、ひと・まち・鎌倉ネットワーク、遊風、学生団体ゆーとびあ、市内高校生、大船ハニービー、Share Heart KAMAKURA、K-breeze、(一社)BRIDGE KUMAMOTO、(一社)がんばるけん熊本機構、鎌倉てらこや、きずなFプロジェクト、七里ガ浜自治会 (順不同)

横浜国立大学教育人間科学部付属鎌倉中学校合唱団、清泉女学院中学校音楽部、林美里、吉川涼子、大小田さくら子、Groove7、Nana5931、YUKARI、雪音、門馬よし彦、Shimva、熊谷育美、岩手県立大学、濱守栄子、LAWBLOW、小川コータ&とまそん (順不同)

[岩手県] 久慈市 [宮城県] 塩竈市、七ヶ浜町、山元町 [福島県] いわき市小名浜、浪江町



鎌倉市、鎌倉市消防本部、鎌倉商工会議所、鎌倉市観光協会、鎌倉市社会福祉協議会、鎌倉市市民活動センター運営会議 建長寺、鶴岡八幡宮、大仏殿高德院 (順不同)



3.11 ～七の心をつなぐ～
 鎌倉プリンスホテル パンケットホール

復興支援の力を絶やさないために「今私たちにできること」を考える。東北物産品販売のほか、現地取材したフォトレポート展示、鎌倉市の防災情報紹介コーナーを設置。



買おう東北 ステージ
 東北応援物産展 「鎮魂のしらべ」マリンバ演奏：林美里
 震災を知る 歌唱：吉川涼子
 被災地写真展、映像でみる被災地 「やまとかたり」詠唱：大小田さくら子
 パネルディスカッション 「パーカッションライブ」Groove7(宮城県七ヶ浜町)
 「被災地支援と鎌倉の防災を考える」


第5回 心をひとつに ～つなげようみちのくの未来へV～
 2017.3.12 鎌倉市役所駐車場他

昨年発生した熊本地震は私たちに災害の怖さと防災の大切さを思い起こさせました。防災に関する企画を統合発展させ「防災フェア」を開催。好天に恵まれ約5,500人が来場。



物販／飲食 ステージ
 東北物産展、チャリティーバザー、東北グルメ屋台 Groove7 (宮城県七ヶ浜町)
 防災フェア NaNa5931 (宮城県七ヶ浜町)
 鎌倉市長・七ヶ浜町長会談、防災見本市、パネル展示 小川コータ&とまそん (鎌倉市)
 防災体験(ハシゴ車乗車、起震車、国交省自然災害体験車等)、防災かるた、スタンプラリーなど 門馬よし彦&Shimva (福島県浪江町)
 LAWBLOW (若手県大船渡市)


第1回 鎌倉市中学生防災サミット
 2015.3.8 鎌倉商工会議所 ホール

鎌倉市内の国立・公立・私立の計12校の関係者・生徒の皆さんが参加。若手県大船渡市立吉浜中学校大和田先生の防災講演、中学校での防災活動の発表、意見交換会など。



【参加校】 鎌倉市立第一中学校、鎌倉市立第二中学校、鎌倉市立御成中学校、鎌倉市立腰越中学校、鎌倉市立深沢中学校、鎌倉市立手広中学校、鎌倉市立大船中学校、鎌倉市立岩瀬中学校、鎌倉市立玉縄中学校、横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉中学校、鎌倉女学院中学校、北鎌倉女子学園中学校(順不同)


第1回 心をひとつに ～つなげようみちのくの未来へ～
 2013.3.10 鎌倉市役所駐車場

真夏のような気温と時折吹く強風にも関わらず約2,000人の方がご来場。若手、宮城、福島から東日本大震災を経験した3名のゲストが登場。陸前高田のうごこ七タも参加。



買おう東北 ステージ
 東北物産展、チャリティーバザー 横浜国立大学教育人間科学部附属
 東北を味わう 鎌倉中学校合唱団
 東北グルメ屋台、振る舞い焼きサシマなど 清泉女学院中学校音楽部
 震災を知る パネルディスカッション「みちのくの今」、座談会(一般の方も参加)、パネル展示


第6回 心をひとつに ～つなげようみちのくの未来へVI～
 2019.3.10 鎌倉市役所駐車場他

防災・減災を具体的にイメージし、今後起こる身近な場所での大規模災害に備えるための体験型企画を充実。自衛隊神奈川地方協力本部にも協力依頼。約3,500人が来場。



物販／飲食 ステージ
 東北物産展、チャリティーバザー、東北グルメ屋台 雪音 (若手県陸前高田市)
 防災フェア 菅野 潤 (福島県出身)
 防災体験(ハシゴ車乗車、起震車、無線通信等)、自衛隊による非常食や災害支援用の車輛装備品展示、紙芝居師なっちゃん (鎌倉市)
 防災かるた、スタンプラリー、パネル展示など 小川コータ&とまそん (鎌倉市)


第2回 鎌倉市中学生防災サミット
 2016.3.13 鎌倉商工会議所議室、鎌倉市役所駐車場イベントステージ

公募により鎌倉市内の中学生13名が参加。防災講演のあと、グループごとにテーマを決めてワールドカフェを行い、市役所駐車場「心をひとつに」イベントステージで発表。



【防災講演】 講師：齊藤賢治氏(大船渡津波伝承館館長)、鎌倉市総合防災課
 【参加者】 鎌倉市立第一中学校、鎌倉市立第二中学校、鎌倉市立岩瀬中学校、鎌倉市立大船中学校、鎌倉市立深沢中学校の生徒13名


第2回 心をひとつに ～つなげようみちのくの未来へII～
 2014.3.9 鎌倉市役所駐車場他



天候にも恵まれ、約5,000人が来場。「音楽を通じて東北を感じる」をテーマに東北出身アーティストによるステージ。富岡町の語り部の話、防災講演会、子供向け企画など。

物販／飲食 ステージ
 東北物産展、チャリティーバザー、東北グルメ屋台 Groove7 (宮城県七ヶ浜町)
 震災を知る YUKARI (福島県いわき市)
 防災講演会『普段から考える防災意識』、松原祭組 (若手県陸前高田市)
 富岡町の語り部遠藤氏の話、パネル展示、LAWBLOW (若手県大船渡市)
 消防射的(子供向け)、スタンプラリーなど 清泉女学院音楽部 (鎌倉市)


ミュージカル ゴーへ [Go Ahead] 鎌倉公演
 2019.3.9 鎌倉芸術館小ホール

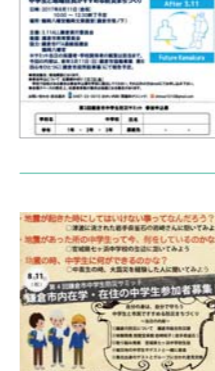

宮城県七ヶ浜国際村ミュージカルカンパニーNaNa5931を招聘し、東日本大震災で大切な人を失った悲しみと希望をテーマにしたミュージカル「ゴーへ」上演。多くの観客に想いを届けた。上演に先立ち特別企画「防災カフェ」を開催。紙芝居師なっちゃんによる紙芝居「防災十箇条」に続き、寺澤薫宮城県七ヶ浜町長と松尾崇鎌倉市長が各市町の防災に対する取り組みなどを紹介した。


第3回 鎌倉市中学生防災サミット
 2017.8.11 鶴岡八幡宮鶴岡文庫講堂

宮城県七ヶ浜町立向洋中学校の生徒による、震災を学び、地域の復興に寄与する「Fプロジェクト」のメンバーが参加。鎌倉市内の中学生とともに熱心に話し合った。



【防災講演】 講師：元大船渡中学校校長 金 賢治先生、鎌倉市総合防災課
 【参加者】 宮城県七ヶ浜町立向洋中学校の生徒(ゲスト)


第3回 心をひとつに ～つなげようみちのくの未来へIII～
 2015.3.8 鎌倉市役所駐車場他

今回から鎌倉市との協働事業に。午前中は小雨が降り終日冷え込むも、約3,000人が来場。第一回鎌倉市中学生防災サミット開催。ALL鎌倉防災かるた登場。



物販／飲食 ステージ
 東北物産展、チャリティーバザー、東北グルメ屋台 Groove7 (宮城県七ヶ浜町)
 震災を知る 門馬よし彦 (福島県浪江町)
 第一回鎌倉市中学生防災サミット(鎌倉商工会議所ホール) 雪音 (若手県陸前高田市)
 子供向け防災啓発(防災かるた、ポウサイダー)、LAWBLOW (若手県大船渡市)
 パネル展示 NaNa5931 (宮城県七ヶ浜町)


第7回 心をひとつに ～つなげようみちのくの未来へVII～
 2020.8.10 オンライン

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となるも、8月に初のオンライン形式で開催。近年の台風被害を受けた全国各地と中継を結び、生の声を直接届けていただきました。



生中継などで出演 オンラインステージ
 一般社団法人トナリノ (若手県陸前高田市) 小川コータ&とまそん (鎌倉市)
 渡邊留一郎さん (宮城県七ヶ浜町) NaNa5931 (宮城県七ヶ浜町)
 奥南エンジニアリング株式会社 (愛媛県宇和島市) 濱守 栄子 (若手県大船渡市)
 株式会社さきのこ屋 (福島県西会津町) 紙芝居師なっちゃん (鎌倉市)
 カトリック雪ノ下教会 震災復興支援プロジェクト (鎌倉市) オンライン防災サミット-防災訓練など


第4回 鎌倉市中学生防災サミット
 2018.8.11 高徳院

宮城県七ヶ浜町から東日本大震災を経験した中学生も参加し、防災について、未来のまちづくりについて一緒に話そう。翌年開催の「心をひとつに」ステージで報告した。



【防災講演】 体験発表：若手県釜石市 旅館宝来館 岩崎昭子さん、鎌倉市総合防災課
 【参加者】 宮城県七ヶ浜町立七ヶ浜中学校の生徒(ゲスト)


第4回 心をひとつに ～つなげようみちのくの未来へIV～
 2016.3.13 鎌倉市役所駐車場他

やや肌寒い気温ながら日差しが暖かく感じる早春の一日、約5,000人が来場。体験型防災展示(ハシゴ車、煙ハウスなど)が登場。防災サミット、子供向け企画も充実。

物販／飲食 ステージ
 東北物産展、チャリティーバザー、東北グルメ屋台 門馬よし彦 (福島県浪江町)
 防災企画 LAWBLOW (若手県大船渡市)
 第二回鎌倉市中学生防災サミット(鎌倉商工会議所議室) 熊谷育美 (宮城県気仙沼市)
 子供向け防災啓発(防災かるた、ポウサイダー)、さんさ踊り (若手県盛岡市)
 ハシゴ車体験、煙ハウス、消防車見学、パネル展示 若手県立大学さんさ踊り実行委員会


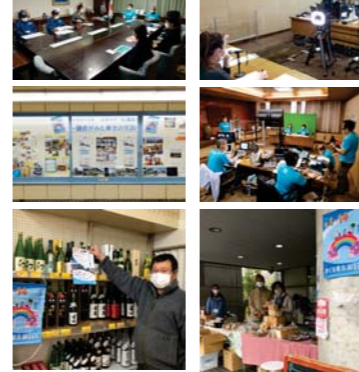
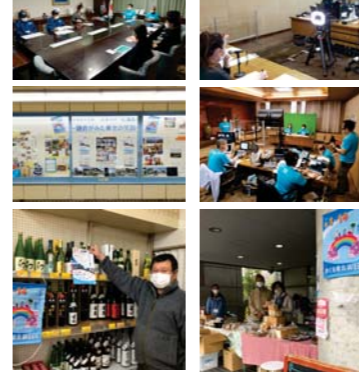




めぐる東北WEEK
 2021.3.1～3.14 御成町エリア、七里ガ浜エリア、稲村ガ崎エリア

あれから10年 心をひとつに東北へ～鎌倉から想い続ける いつまでも～ 2021.3.7 オンライン、鎌倉

鎌倉・若手・宮城・福島をオンラインでつなぎながら、現地の方たちの想いや復興状況などをお伝えしました。ユーチューブライブでの生配信。鎌倉市内の飲食店等とコラボした「めぐる東北WEEK」、鎌倉駅地下ギャラリーでのパネル展示なども同時開催。

生中継などで出演 オンラインステージ
 マツダファーム、マルテン水産 (若手県) LAWBLOW (若手県大船渡市)
 ふるさと納税紹介 (宮城県塩竈市、七ヶ浜町) 雪音 (若手県陸前高田市)
 道の駅なみえ (福島県) 紙芝居師なっちゃん (鎌倉市)
 鎌倉市内の東北物産展からレポート NaNa5931 (宮城県七ヶ浜町)
 若者と鎌倉市長のガチ対談、防災都市提言 小川コータ&とまそん (鎌倉市)

第6回 鎌倉市中学生+HighSchool防災サミット
 2020.8.10 自宅など(リモート)

少人数で討議することにより各自が意見を述べる機会と時間をしっかり確保。普段から防災意識の高い者同士が集まることの相乗効果はオンラインでも変わらず。

【防災講演】 体験発表：福島県双葉町からの避難生活について、鎌倉市総合防災課 山元町からのレポート、オンライン防災訓練(防災グッズ紹介など)
 【参加者】 鎌倉市内の中学生・高校生、宮城県七ヶ浜町立向洋中学校の生徒

